

収穫時期を正しく把握し刈り遅れ防止を！

- 新潟地方気象台発表の1か月予報（8月13日発表）によると、向こう1か月（8月15日～9月14日）の平均気温は、高い確率が70%となっています。
- 今後の高温で収穫期が早まり、品種によっては刈り遅れが発生することも考えられます。刈り遅れは、胴割粒や着色粒の発生を助長するので、早めの作業準備を行い、適期刈取りで品質低下を防ぎましょう。

出穂期と収穫適期のめやすにより、収穫計画を作成

- 積算温度を活用して収穫時期を推定し、収穫計画を作成しましょう。

表 品種別の出穂期・収穫適期のめやす

品種	収穫適期のめやす (出穂後積算温度) 通常年	出穂期 (管内平均)	収穫適期のめやす (積算温度到達日)
ちほみのり	950～1,000 °C	7月18日	8月23～25日
ゆきみのり	1,000 °C	7月20日	8月27日
つきあかり	1,000～1,100 °C	7月22日	8月29日～9月2日
ゆきん子舞	950～1,000 °C	7月23日	8月28～30日
あきだわら	1,050～1,100 °C	8月11日	9月23～26日

※収穫適期のめやす（積算温度到達日）は長岡のアメダスデータより算出

（8月17日までは本年値、気象庁の予測資料に基づき8月18日からの2週間は平年値+0.6～+1.2°C、それ以降は平年値+1.2°Cの数値を使用）

ほ場での黄化粒の割合で収穫適期を判断

- 多収性品種は、黄化粒の割合が90%の頃が収穫適期です。

問い合わせ先

長岡農業普及指導センター

電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp